

「迅速な技術開発」と「鋭敏な時代感覚」を！

Speedy Technological Development and Keen Senses to the Future

常務取締役 汎用塗料本部長
関西ペイント販売(株) 代表取締役社長
藤田和弘

Kazuhiro
Fujita



平素は弊社の技術研究小誌であります『塗料の研究』をご愛読いただき、心より感謝申し上げます。また関西ペイント製品をご愛顧賜り、関西ペイントグループに多大のご支援をいただいておりますことを改めて厚く御礼申し上げます。

弊社前社長世羅勝也は昨年12月に急逝いたしました。故人は技術者として長らく弊社の研究開発活動を指導し、平成14年6月の代表取締役社長就任とともに、「利益と公正」を掲げた弊社第10次中期経営計画遂行の陣頭に立って奮闘する中、本計画の終了する本年3月を目前にして、その達成を自身の目で確認することが出来ず、無念で急な旅立ちとなりました。

世羅前社長は第10次中期経営計画を遂行する中で、技術部門・研究開発部門に対し、技術開発のスピードアップと近未来を見透す鋭い時代感覚を強く求め続けていました。故人が生前に求めたこの「迅速な技術開発」と「鋭敏な時代感覚」は、これからの時代の変化を適確に捉えたなかでの指針でありました。

皆様ご承知の通り、塗料は各種の工業製品等、極めて広範囲に使用されており、その要求品質も益々多岐に亘ってきております。また、近年のグローバル化の進展は、欧米の大資本総合化学メーカーから、中国をはじめとする全アジアの強いコスト競争力を有する企業群に到るまで幅が広まり、新しい競争相手を多数出現させる状況を創りだしました。一方、今や世界各国の共通課題である地球環境保全への取り組みは、塗料製品の評価として、従来の性能とコストの2軸に加え、製品製造過程、塗装工程、そして出来上がった塗膜が環境に与える負荷を考慮するという新たな査定軸を設けるに至りました。

このような時代の変化の下、弊社は本年4月から新たな3ヵ年の中期経営計画を進めます。新計画遂行に当っては、故人の遺志を受け継ぎ、「迅速な技術開発」と「鋭敏な時代感覚」をもって、技術、営業他、全部門が垣根を取り払い一丸となり、お客様にご愛顧いただける製品を他に先んじて上市しつづける所存でおります。

皆様には、引き続き絶大なご支援をお願い申し上げます。